

日本学術会議-RIETIシンポジウム

「ダイバーシティ経営とワーク・ライフ・バランス」

プレゼンテーション資料

吉沢 豊予子

日本学術会議連携会員
東北大学大学院医学系研究科教授

2016年3月22日



日本学術会議-RIETIシンポジウム
ダイバーシティ経営とワーク・ライフ・バランス

女性の多重役割と健康問題-ワーク・ ファミリー・バランスの観点から

東北大学大学院医学系研究科
ウィメンズヘルス看護学分野
吉沢 豊予子



目次

◆ Women's Healthの視点から見た現代の健康問題

◆ キャリア形成と現代の健康問題



◆ Women's Health の視点からの提案

⊕ リプロダクティブ・ライフ・プランの考え方

⊕ 両親共同型の新しい子育て Coparenting



Women's Health

-母性の健康から女性の健康へ



「女性の看護学(メヂカルフレンド社, 2000)」



「女性看護学(メヂカルフレンド社, 2008)」



序文：・・・女性の健康を母性の健康としてのみ捉えていいのかの疑問をもち続けてきた。女性はそこからだに子どもを産む仕組みが備わっていることから、次世代の健全な育成に努める役割と責任を担ってきた。母子保健行政はそれをバックアップするところの事業を展開し、成し遂げたといえよう。しかしながら、一方で女性がからだに子どもを産む仕組みを持っていることや社会がまだ男性中心である社会・文化的コンテクストが存在することから、女性が生涯を通じて男性とは異なる身体的・心理社会的健康問題を多く抱えていることがある。これらのことは長年無視されてきた。・・・母性の健康のみで女性の健康を捉えることに限界がある。現代の社会・文化的コンテクストで女性を中心にすえた健康の概念を探る試みを始めた・・・



各ライフステージに見られる健康問題

	思春期	成熟期	更年期	老年期
身体的 ・ 精神的 ・ 社会的 ・ 健康問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月経の発来(初経) ・ 無排卵性月経 ・ 原発性無月経 ・ 続発性無月経 ・ 月経困難症 ・ 性器の奇形 ・ 思春期貧血 ・ 女性性拒否 ・ 性的外傷体験 ・ 性感染症 ・ 人工妊娠中絶 ・ 十代妊娠・出産 (母性性の未発達) ・ タバコ, アルコール, ドラッグ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月経異常 ・ 性感染症 ・ 子宮筋腫 子宮内膜症 ・ 子宮癌, 卵巣癌 ・ 乳房疾患(乳癌) ・ 肥満/痩せ(摂食障害・ボディイメージの障害) ・ 喫煙・アルコール ・ 暴力・虐待・ハラスメント ・ 人工妊娠中絶/不妊 ・ 性行為感染症 ・ 性不能症(セックスレス) ・ 月経前症候群(PMS) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 閉経に伴う疾患 -更年期障害 -心血管系疾患 -骨粗鬆症 -尿疾患 -性交障害 ・ 精神的鬱症 ・ 不安 ・ 空の巣症候群 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全身機能の低下に伴う疾患 ・ 子宮体癌 ・ 膣萎縮症 ・ 尿失禁/尿路感染 ・ 寡婦体験 ・ 孤独感 ・ 認知症 ・ ロコモティブシンドローム 

目次

◆ Women's Healthの視点から見た現代の健康問題

◆ キャリア形成と現代の健康問題



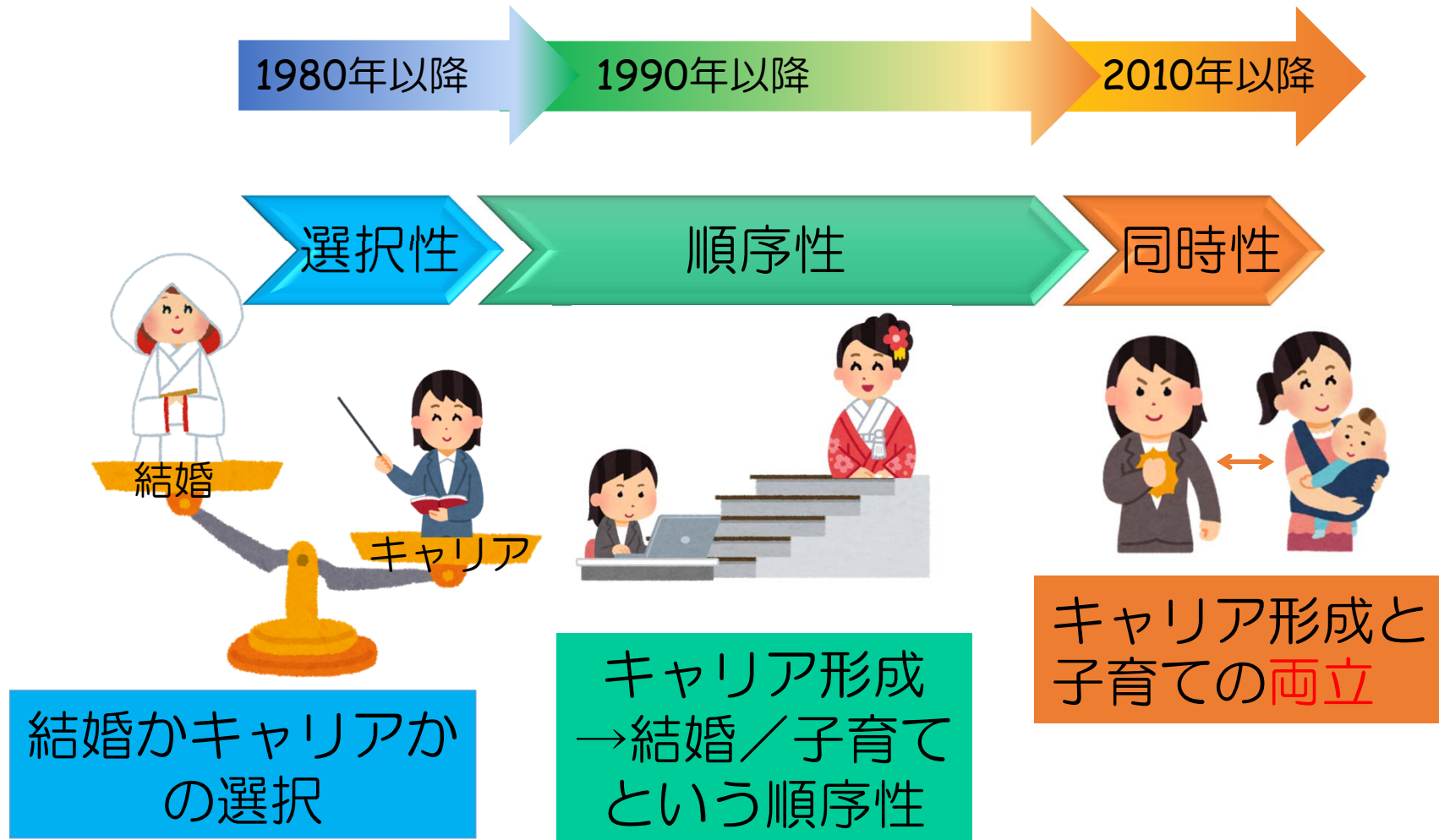
◆ Women's Healthの視点からの提案

⊕ リプロダクティブ・ライフ・プランの考え方

⊕ 両親共同型の新しい子育て Coparenting



女性のキャリア形成の変遷 (吉沢私案)

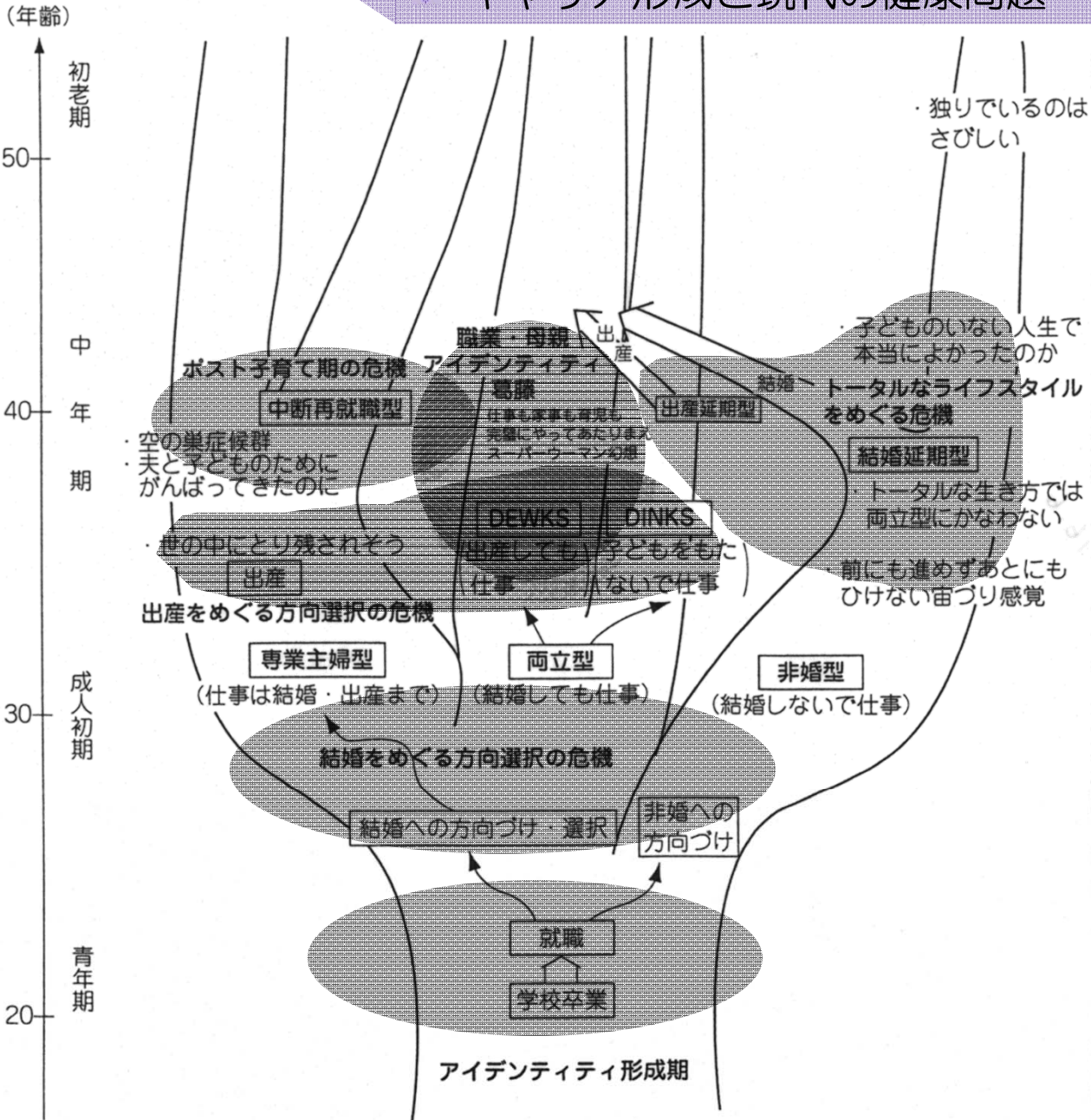


選択性

現代女性の ライフサイクル の木

- 1985年
男女雇用機会均等法
- 合計特殊出生率：1.76

◆ キャリア形成と現代の健康問題

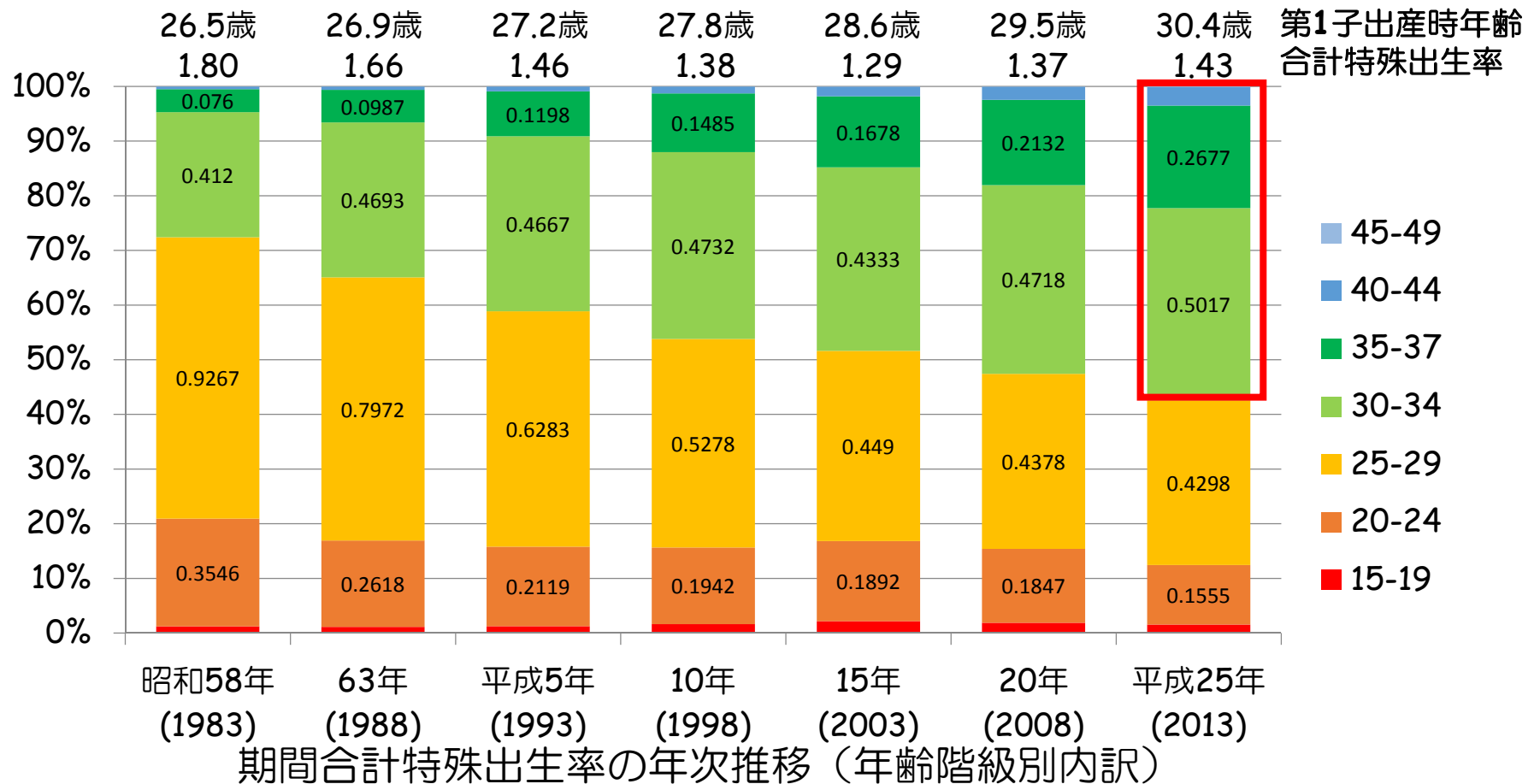


岡村祐子, 他偏著：女性のためのライフサイクル心理学, 福村出版, 1994

順序性

女性のキャリア形成と健康問題

➤ 晩婚化・晩産化と健康問題



<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai13/dl/tfr.pdf>

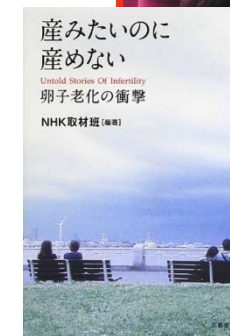


順序性 → 晩婚化・晩産化による健康問題

➤ 妊孕力の低下

- 卵子の老化の特集(Newton 2012,10)
- 「卵子老化の真実(河合蘭,文春新書,2013)」
- 「卵子老化の衝撃(NHK取材班,2013)」

妊孕力に対する考え方, 知識不足



➤ 不妊治療へのアクセスの増加

➤ 低出生体重児の増加

➤ 切迫流産, 切迫早産, 妊娠高血圧症候群, 妊娠糖尿病罹患率の増加

➤ 帝王切開術分娩の増加

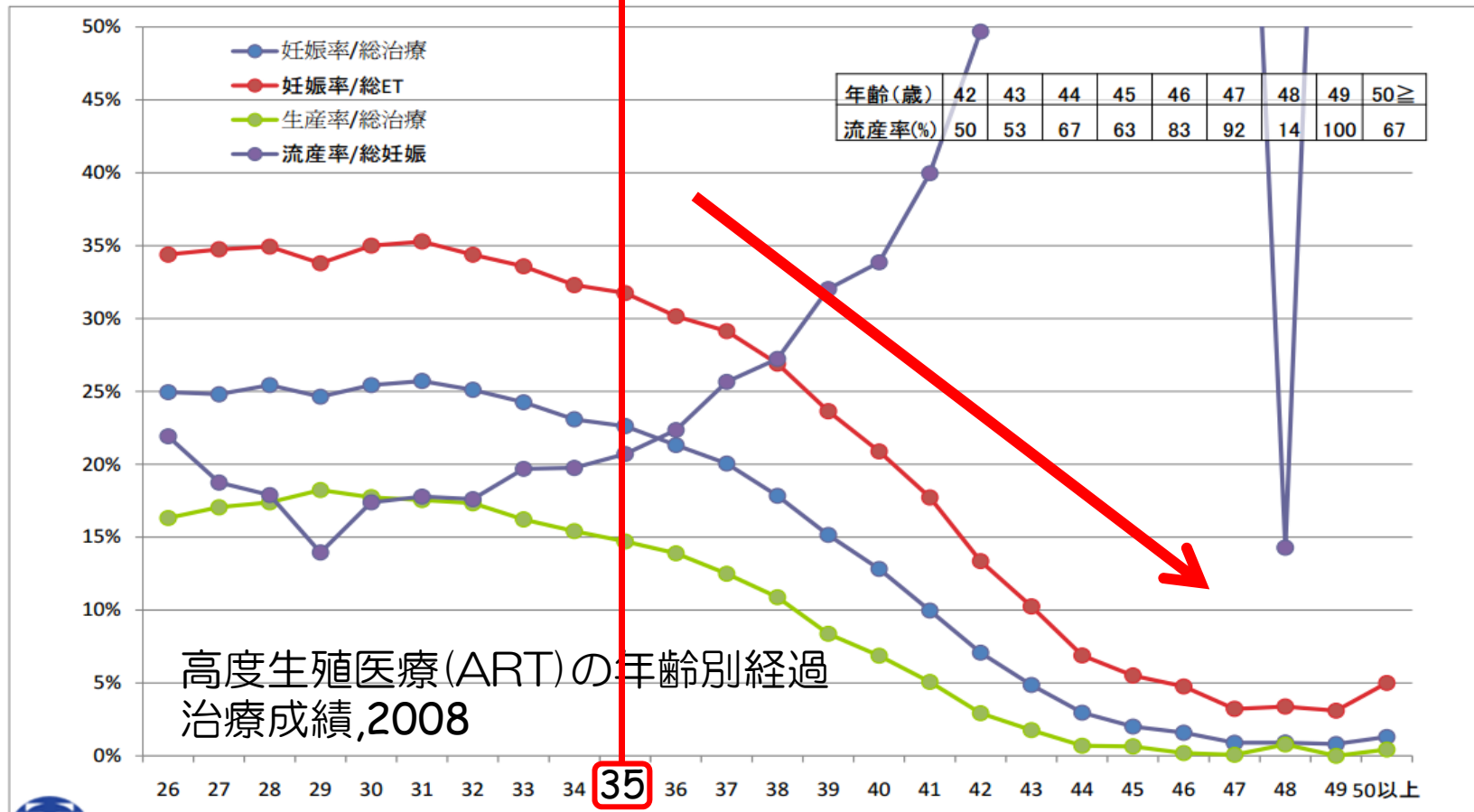
➤ 出生前検査数の増加

(染色体異常児と母の年齢との関係性, 一般女性の関心度高)



順序性

➤ 年齢が増加すると生殖補助医療による妊娠率・生産率が低下する

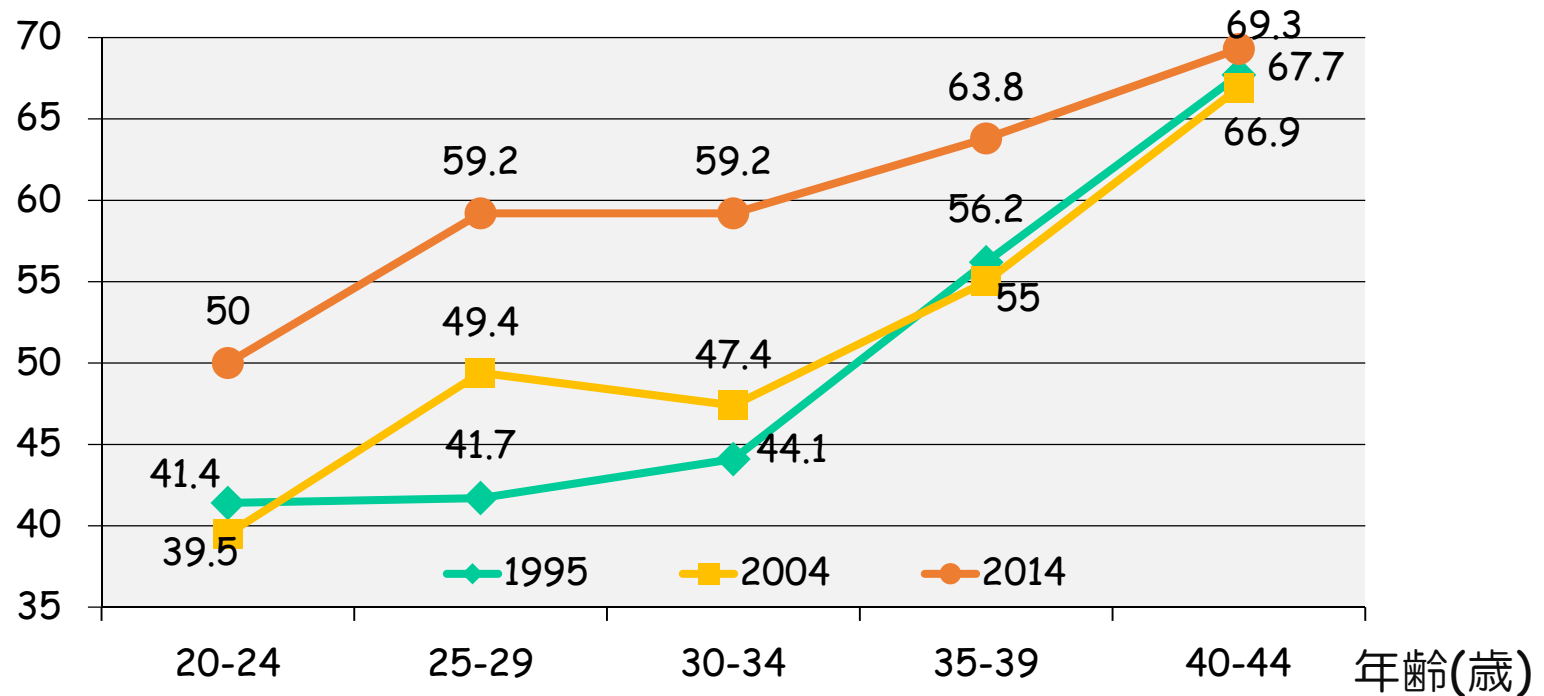


一般社団法人日本生殖医学会 http://www.jsrm.or.jp/public/funinsho_qa18.html
(http://plaza.umin.ac.jp/~jsog-art/2008data_pdf.pdf).

順序性

➤ 出産適齢期にある有配偶女性の就労割合の増加

就労割合(%)



有配偶女性の就労割合

(厚生労働省:平成25-26年版働く女性の実情)



研究報告

就労妊婦の健康問題状況



研究方法

- 研究デザイン：横断的研究デザイン
- 研究参加者：就労妊婦 約200名



[研究参加者適格基準]

- 1)調査時妊娠しており，今回が初めての妊娠であること
- 2)調査时就労（週20時間以上）していること，
又は調査前1か月の間に退職しているが妊娠判明時に
就労していたこと

- データ収集方法：オンライン調査（調査会社に依頼）
- データ収集期間：2015年5月22日～26日
- 倫理的配慮：東北大学大学院医学系研究科倫理委員会の承認を得て実施（承認番号2014-1-860）



結果 1 対象属性

◆ キャリア形成と現代の健康問題
研究報告：就労妊婦の健康問題状況

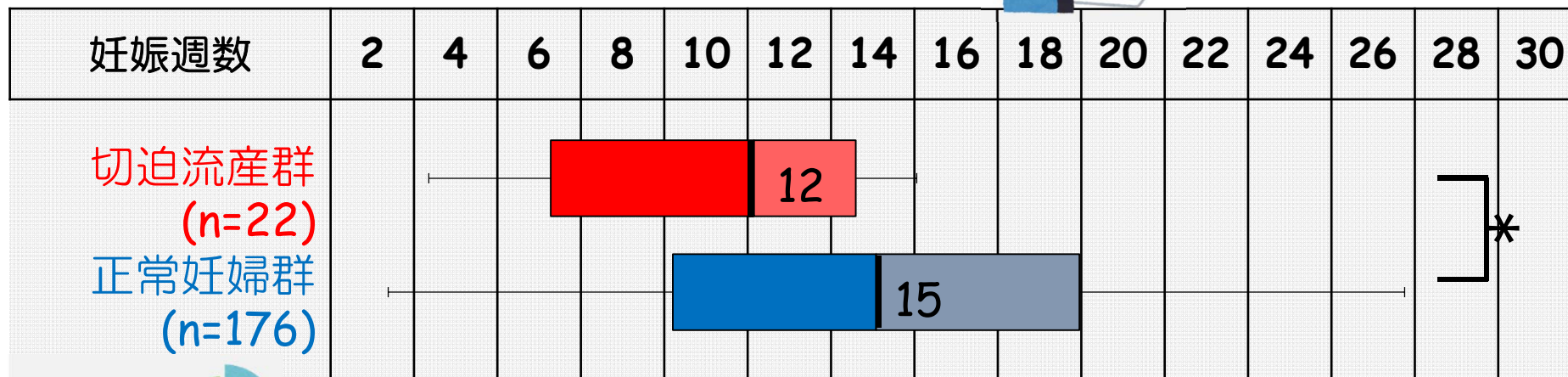
属性		仕事の状況	
		(N=198)	
属性	n (%)	属性	n (%)
年齢 (Mean±SD),	32.4±4.8	雇用状態	
		常勤	139 (70.2)
		非常勤	59 (29.8)
妊娠時期		職種	
妊娠初期	8 (4.0)	事務職	89 (44.9)
妊娠中期	91 (46.0)	営業, サービス業	34 (17.2)
妊娠後期	99 (50.0)	専門職, 技術職	31 (15.7)
妊娠の計画性の有無		管理職, 中間管理職	24 (12.1)
意図した妊娠	175 (88.4)	運送業, 生産業 その他.	20 (10.1)
意図しなかった妊娠	23 (11.6)	現在の仕事状況	
パートナーとの同居の有無		就労中 or 産休中	169 (85.3)
同居	183 (92.4)	休職中	19 (9.6)
単身	15 (7.6)	退職した	10 (5.1)



結果 2 妊娠開示



➤ 職場への妊娠開示時期



Student's t-test *p<.05



切迫流産の妊婦の方が3 週間妊娠開示が早い



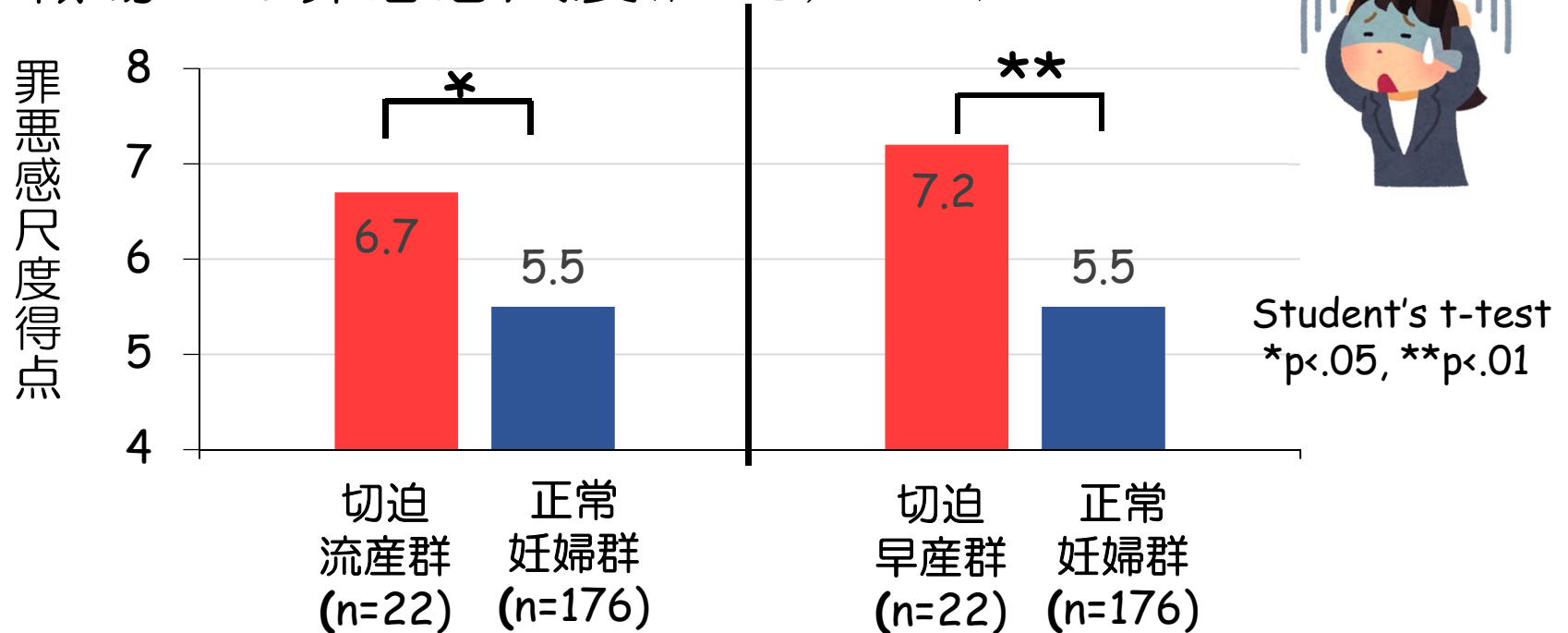
イメージ戦略
の崩れ

就労妊婦が就労者や専門家としての周囲からのイメージを、妊娠中も維持するために職場で行う戦略
「降格や解雇，退職を避けるため妊娠初期にはできるだけ妊娠を明らかにしない」

結果 3 職場への罪悪感

◆ キャリア形成と現代の健康問題
研究報告：就労妊婦の健康問題状況

➤ 職場への罪悪感尺度 (和田ら, 2016)

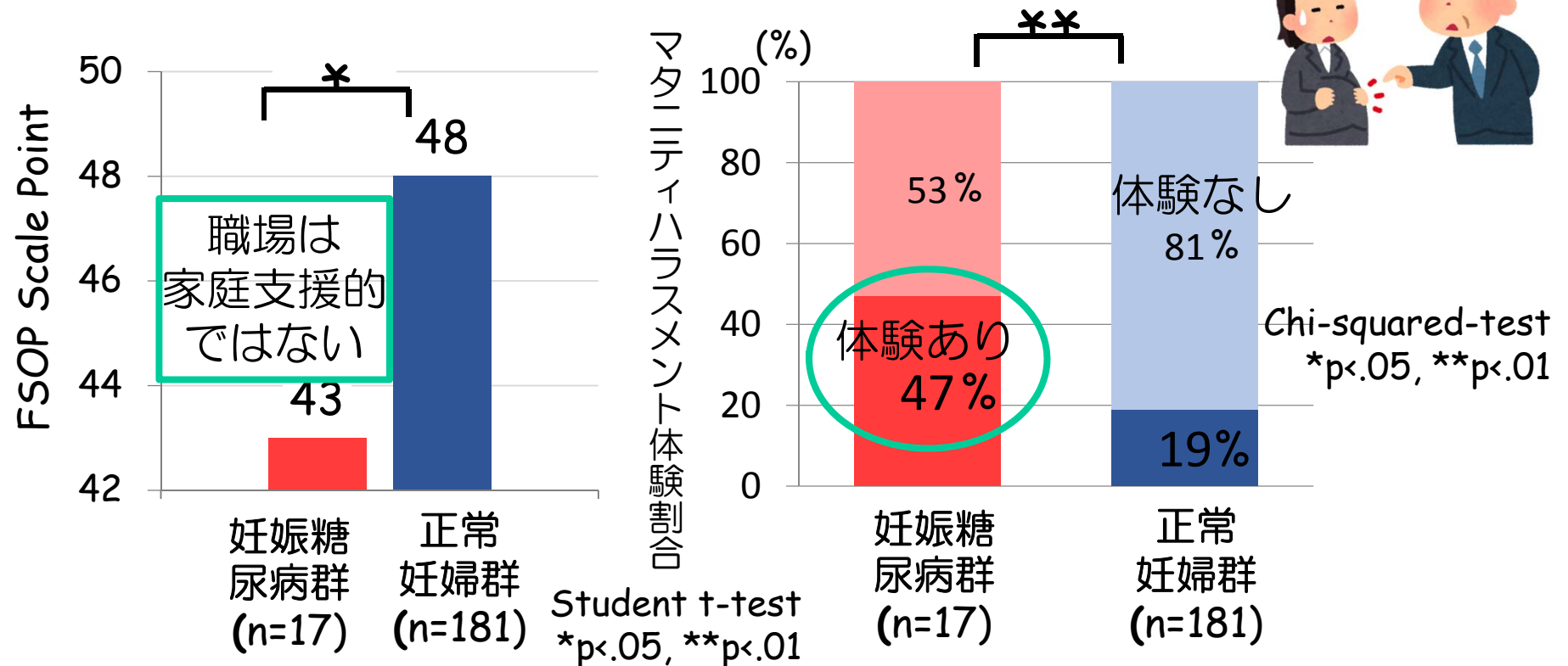


切迫流産, 切迫早産の妊婦の方が罪悪感が強い



結果4 職場風土の認識

- Family-supportive organizational perceptions (FSOP：家庭支援的職場風土尺度, Allen, 2001)
- マタニティハラスメント



周囲の目や妊娠に関する話題に必要以上に敏感になる

目次

◆ Women's Healthの視点から見た現代の健康問題

◆ キャリア形成と現代の健康問題



◆ **Women's Healthの視点からの提案**

⊕ リプロダクティブ・ライフ・プランの考え方

⊕ 両親共同型の新しい子育て **Coparenting**



同時性

キャリア形成と Reproductive Life Plan



Reproductive Life Plan (RLP)(案)

リプロダクティブライフプラン

女性が、自身の、将来の家族像、リプロダクティブヘルス、キャリアプランを考慮しながら、女性から見た夫(パートナー)の、将来の家族像、リプロダクティブヘルス、キャリアプランの影響を受けて、社会的環境要因と日本の家族観に基づき、将来の子どもを持つことに関して見通しを持つこと。

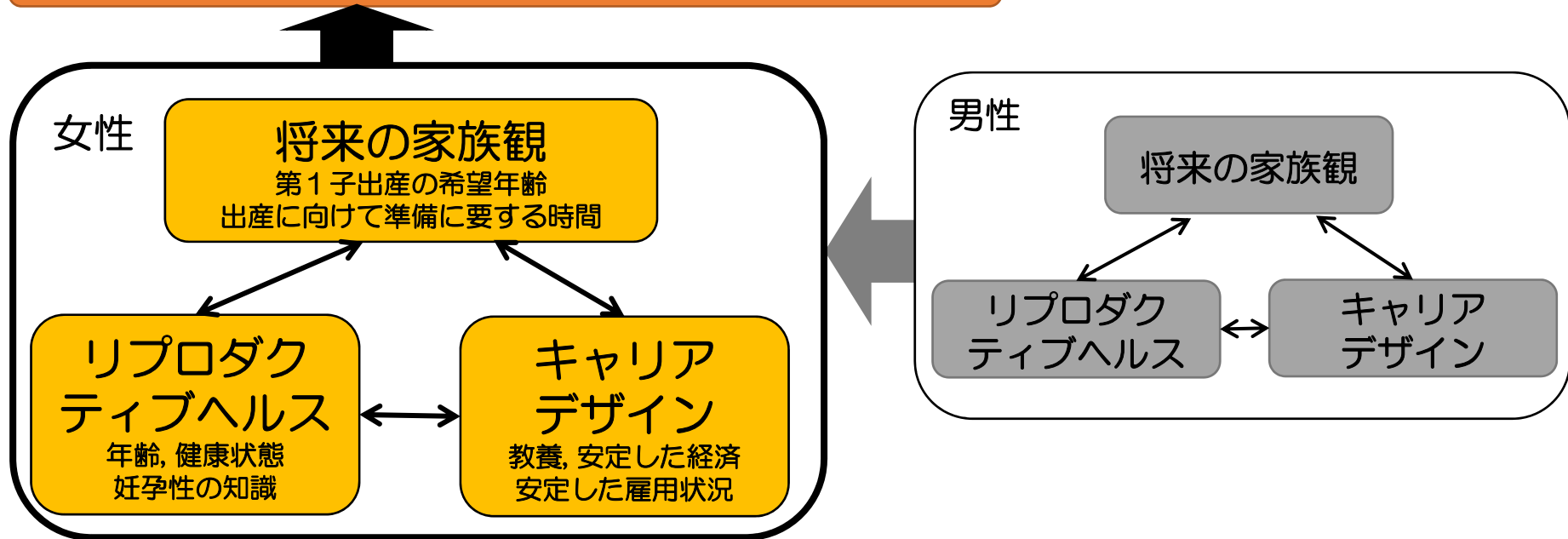


同時性

キャリア形成と

Reproductive Life Plan

リプロダクティブライフプランを持つこと



社会的環境要因

日本的家族観

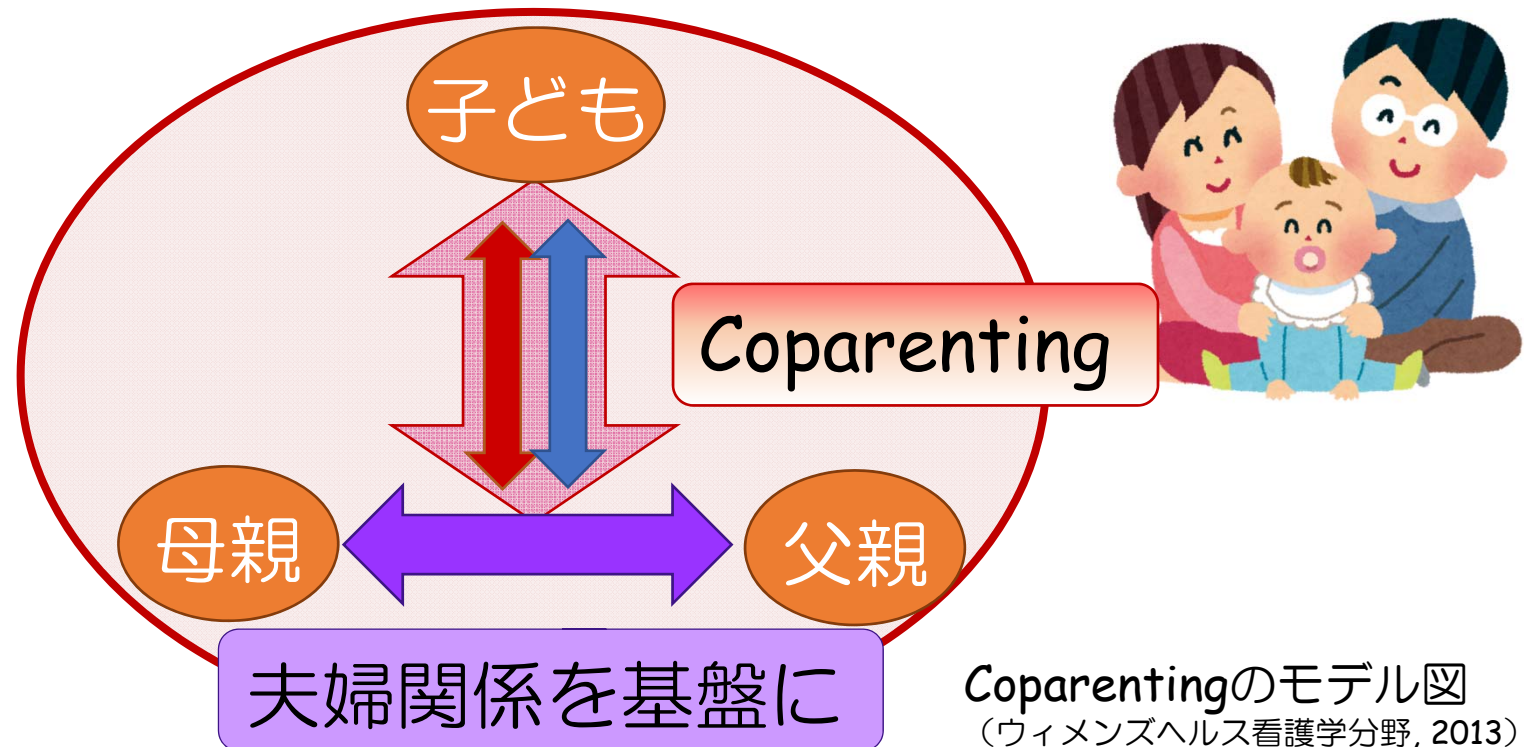
日本女性のリプロダクティブライフプラン構造図 (案)



同時性

Coparenting の促進

両親が相互的に育児を支え, より安定した育児環境を提供するために継続して関わり, 協力して働きかけること (Maccoby et al.,1990)



Coparentingのモデル図
(ウィメンズヘルス看護学分野, 2013)



父親がおかれている育児の現状



➤ 育児時間と育児内容

- 男性の育児時間は平日2時間以内, 休日2時間以上,
育児内容として, 世話 (caregiving) よりも遊び (playing),
父親の勤務時間が育児参加の阻害因子

(過去10年間の父親の育児参加・協力に関する研究分析, 渡辺, 2014)

➤ 産後の父親のうつ

	女性	男性
産後うつ有病率	8.4% (厚生労働省, 2014)	2.4-18.0% (Leach LS et al, 2016)
すべてのうつ病エピソードの生涯有病率 (厚生労働科学研究, 2006)	9.1%	3.7%

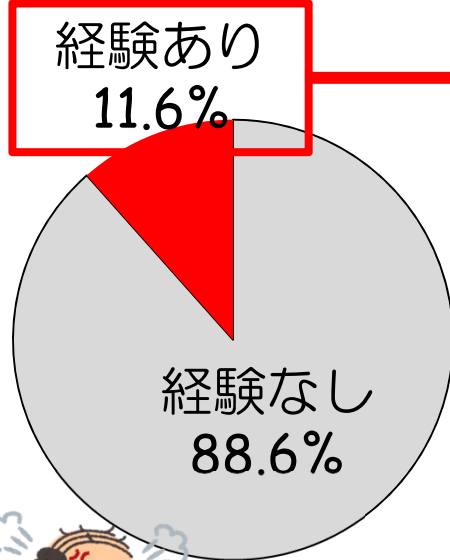


父親がおかれている育児の現状

➤パタニティハラスメント

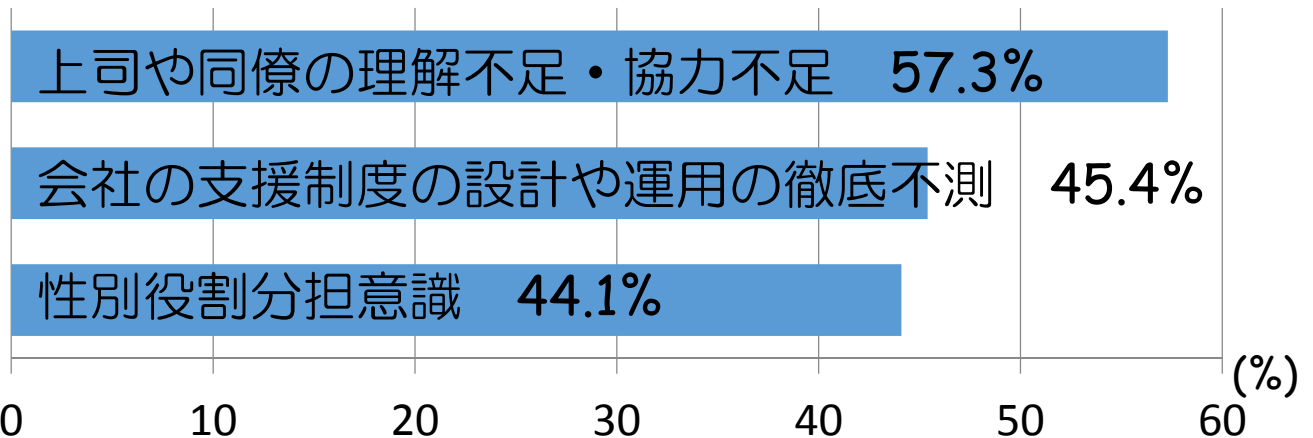
インターネット調査 n=1,000

パタハラ経験

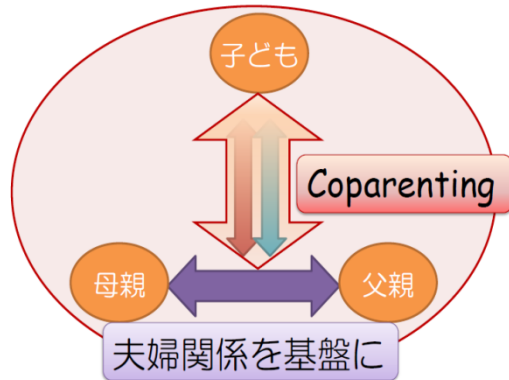


- ✓ 子育てのための制度利用を認めてもらえなかった。
- ✓ 「育児は母親の役割」「育休をとればキャリアに傷がつく」といわれた。
- ✓ 子育てのための制度利用をしたら、嫌がらせをされた。

職場でパタハラが起こる原因は何か



連合（日本労働組合総合連合会）による調査 2014.1.23発表



Coparenting の促進プログラム

- 現在の出産準備教育を見直し**家族に焦点を当てた** **予防プログラム**
- **妊娠期**から行われる**夫婦参加型**の教育プログラム

プログラムの目的

夫婦が子育てについての責任を分担し、お互いに親役割を調整し、サポートし合うことを支援

プログラムの効果

- 産後、夫婦ともに育児ストレスが低下
- 母親、父親の抑うつが低下



まとめ



- **順序性** (キャリアの後に出産,子育て) は, 身体的な健康問題を引き起こした.
- 就労妊婦が増えたことにより, その特徴が明らかになった.
- **同時性** とは, 適齢時期にキャリア形成と子育てを行うことであるが, それを実現するには,

Reproductive Life Plan

Coparenting を提案

国の取り組み

- 一億総活躍 (女性活用)
- 少子化 (合計特殊出生率1.8の実現)

Double income with Two kids DIWTKS

